

リユース蓄電池を活用した蓄電システムの実証事業を行います

— 電動フォークリフトで使用したリチウムイオン電池を太陽光発電所で有効活用 —

NExT-e Solutions株式会社（以下、NExT-eS）、九電みらいエナジー株式会社（以下、九電みらいエナジー）、九州電力株式会社（以下、九州電力）の3社は、電動フォークリフトで使用したリチウムイオン電池を大規模定置用蓄電システムにリユースする仕組みを検証します。

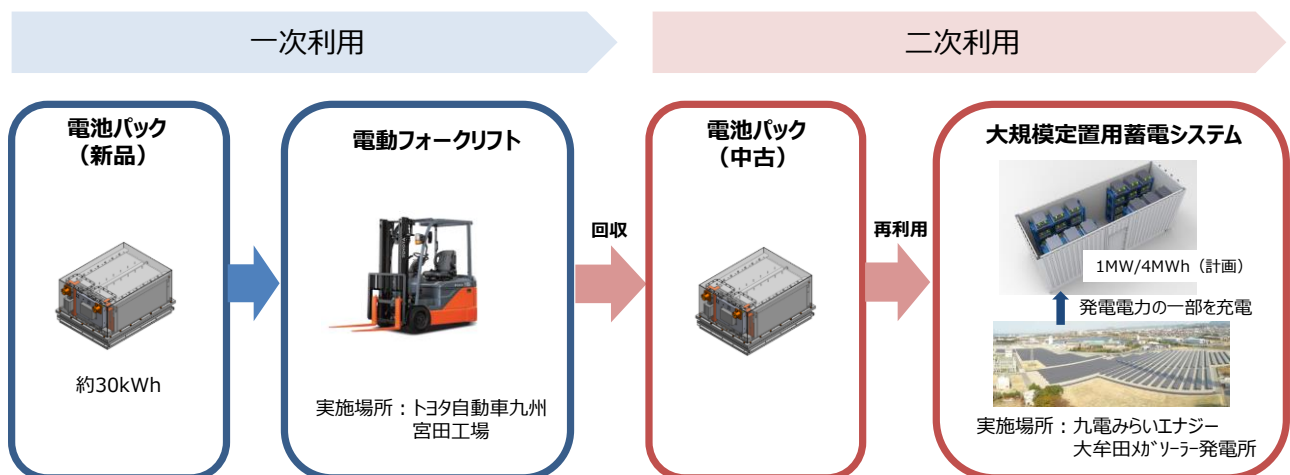
本実証事業を通じ、リユース蓄電池の性能やコストの確認を行い、安価で資源の有効活用が可能な蓄電池システムの構築を目指します。

実証事業の概要は、以下のとおりです。

- (1) NExT-eSは、トヨタ自動車九州株式会社（以下、トヨタ九州）と協働して、NExT-eSが独自に開発した電池パックをトヨタ九州の宮田工場稼働する電動フォークリフトに搭載して1年程度使用
- (2) 使用後の電池パックを用い大規模定置用蓄電システムを構築し、九電みらいエナジーが所有する大牟田メガソーラー発電所に設置。出力制御時に発電電力を蓄電し有効活用
- (3) 九州電力、NExT-eSを中心に将来の需給調整市場での活用や電力系統安定化等の新たな事業やサービスを検討

なお、本実証事業は、NExT-eSが国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の助成事業である「新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業」フェーズD（大規模実証研究開発）に応募し採択されたもので、実証期間は2年間を予定しています。

<実証事業イメージ>



以上